



【特集】 岩手県立図書館紹介動画

岩手県立図書館に来館する利用者に対し、当館の利用方法を広く周知するとともに障がいを持った方の利用やバリアフリーについて学ぶ児童・生徒の学習に役立てていただくため、利用案内動画を作成しました。

館報No.177 では岩手県立図書館紹介動画をどのように制作したのか、動画制作の方法から制作スタッフによる感想まで、図書館動画を全て紹介いたします。



図書館紹介動画の工夫とねらい

岩手県立図書館では、Twitter でのつぶやきで“おはなし会”や“企画展示”といったイベント情報をお届けしています。また最近ではチャグチャグ馬コの古い写真を載せる等、貴重資料の紹介なども行っており、ソーシャルメディアを通じた情報発信を積極的に行っています。

そして今回、視覚的に分かりやすく岩手県立図書館の取り組みを紹介できるよう、新たに YouTube チャンネルを開設しました。

最初に YouTube チャンネルにアップロードした動画は、県立図書館の特徴やサービスをまとめた「県立図書館紹介動画」です。この動画では現在の県立図書館内の様子や取り組みなどを多数紹介しています。

UD (ユニバーサルデザイン)

岩手県立図書館紹介動画では、親しみやすい動画づくりを目指し、多くの県民から愛されている岩手県のキャラクター「そばっち」に利用者役として出演してもらいました。図書館スタッフ以外のキャラクターを登場させることで利用者目線での進行が可能になり、より分かりやすいストーリー作りに繋がるのではないかと考えての配役です。

「YouTube チャンネル」という媒体を使用したのは、チャンネル開設により岩手県立図書館の“今”をわかりやすい動画という形で配信できるようになるからです。利用者の方との距離的・時間的な制約を超えて情報をお届けすることができるのではないかと考えての選択でした。

平成 27 年 6 月に開設した岩手県立図書館 YouTube チャンネルと図書館紹介動画は、動画作成時のコンセプトとして全体で共有したことがありました。

岩手県立図書館は、身体の不自由な方でも快適に利用して頂けるユニバーサルデザイン設計になっています。動画編集においても“ユニバーサル”であることを念頭に、構成の段階から幅広い利用者へ見ていただけるような動画づくりを心がけました。

その結果、案内役のコンシェルジュとそばっちとの会話に字幕表示を入れることにしました。こうすることで、音声を OFF にしてもすべての会話内容を目で確認できるようになります。またフロアや場所の移動時にも、どこに移動したのかが分かるよう、都度、字幕で案内を表示しています。



補聴設備（磁気ループ）と筆談ボード



多機能トイレ — 広い空間が確保されています

撮影機材・編集ソフト

撮影・編集作業は、以下の機材を用いて行いました。

- ・ビデオカメラ（ハンディカム [SONY HDR-CX560]）
- ・三脚（リモコン付き三脚 [SONY VCT-60AV]）
- ・ワイヤレスマイク
- ・動画編集ソフト（Video Pad [フリーウェア]）

動画編集ソフトを選ぶ際に重視したことは、“インサートカット編集”が出来るものを選ぶことでした。インサートカットとは、ベースとなる動画の音声を活かしつつ、そこに別の動画や静止画を重ねて編集できる機能のことです。



編集の様子

脚本やそばっちの出演は早い時期から決まったものの、そばっちのスケジュールの都合上、撮影日は月末休館日2回という少ないチャンスしかありませんでした。撮影にスピードが求められる点で大変な苦勞をしました。また、動画は脚本を元に展開していくため、アドリブや自分の言葉で説明をすることができません。さらに、そばっちは喋らないため、掛け合いのシーンでの間の取り方やリアクションの展開が非常に難しくなっています。このため、すべての掛け合いシーンを何度も練習した上で撮影に臨む必要がありました。

編集作業においても、データが指示通りに入力されない、勝手に消えてしまう、データが読み込めない等の不具合が発生し、スムーズに作業を進められないことも多くありました。

★ 動画作成スケジュール ★

<2014年> 9月8日 第1回打合せ	動画製作の目的を確認。そばっちの出演を検討。
9月30日 第2回打合せ	撮影機材や編集ソフトの確認。撮影本番日の決定。
10月8日 第3回打合せ	脚本および事前撮影物（物撮り）の検討。
10月～ 物撮り	インサート用に館内各所の物撮り。アイーナ、図書館の外観の撮影。
12月26日 第1回館内撮影	月末休館日に合わせ館内で撮影作業を実施。
1月～ 編集作業開始	動画編集ソフトを使用し、撮影終了分の動画の編集を開始。
<2015年> 1月30日 第2回館内撮影	月末休館日に実施。一回目の撮影終了後や編集作業中に気づいた点、足りない部分などをまとめ、館内を再度撮影。
2月～ 編集作業	第2回目の撮影分も加え、編集作業を再開。脚本に沿って適宜インサートや音声処理を行う。
3月14日 図書館総合展2015 フォーラム in 一関	図書館活動をテーマとしたポスター展会場で動画を一部紹介。
6月 動画完成	完成。YouTubeに投稿。ホームページで公開

編集途中でしたが、今年の3月14日に開催された「図書館総合展2015フォーラム in 一関」のポスター展会場で動画を一部紹介したところ、「図書館をこのような方法でPRする方法があるのか。うちの館でもやってみたい」といった言葉をいただくことができました。

6月、ようやく編集を終えYouTubeに投稿するとともに図書館ホームページで公開しました。

図書館紹介動画を作成してみて、10分程度の動画でも編集作業が思った以上にかかってしまう事が分かりました。反省点、評価点を次の動画作成につなげたいと思っています。

紹介動画を見てみよう！

ここからはいよいよ、実際の動画がどのような内容になっているのか、動画のスクリーンショットを交えながら紹介いたします。

そばっち来館～利用者カード作成

そばっちが岩手県立図書館に入ると、コンシェルジュがお出迎え！コンシェルジュはフロアで来館者の資料探しのお手伝いや利用案内、図書館見学ツアーなどを行っています。そばっちは早速、図書館の利用方法を教えてもらい、図書館の利用登録をします。

動画の中では貸出期間や貸出冊数など、基本的な利用規則についても詳しく紹介しています。初めて利用する方は、この動画で岩手県立図書館の利用方法を事前に確認することができます。



そばっちは利用者カードをつくってもらいました

利用者カードの発行も終わり、いよいよそばっちの図書館めぐりがはじまります！

児童コーナーって、どんな場所？

児童コーナーへと案内されたそばっちは、コンシェルジュから児童コーナーについて説明をしてもらいます。

児童コーナーには約3万冊の本があり、そのうち絵本が約1万冊、紙芝居が約2千点あります。また、児童書や児童サービスについて研究するための本を集めた「児童図書研究室」があります。「おはなし室」では、おはなし会や子ども向けイベントを開催しています。

読みたい本は、どう探すの？

そばっちが「読みたい本は、どうやって探すの？」と質問すると、コンシェルジュが蔵書検索機を紹介します。



蔵書検索機は図書館が所蔵している本を探すことのできる機械です。タイトル、著者、出版社など様々な条件で検索できるので、簡単に目的の本を見つけられます。モニタにはタッチパネル機能が付いているので、キーボードの操作が苦手な方でも自分の指を画面にあてて操作することができます。

「むずかしい」を「読みやすく」

ユースコーナー。聞きなれない言葉に、そばっちは思わず、「ここにはどんな本があるの？」と質問します。

ユースコーナーとは主に中高生向けの本が置いてある場所のことです。進路や職業に関する

本のほか、新聞や小説なども多数揃えており、多くの生徒が利用しています。

中高生向けの本を集めたコーナーではありませんが、中高生のためだけのコーナーという訳ではありません。むずかしい内容が読みやすくまとめられている本なので、大人の利用者にも人気があります。



「調べたい」をバックアップ！

調べ物をしたいけれどどこから調べたら良いのだろう？そんな時は「参考資料コーナー」が便利です。

岩手県立図書館では、調べ物の際に役に立つ図鑑や辞書・事典を約1万点所蔵しています。棚板の一部を外して「書見台」を設けていますので、大きく重い本でも気軽に閲覧できます。



書見台を利用しているところ

郷土資料コーナーはどんな場所？

次に訪れたのは「郷土資料コーナー」です。

岩手県立図書館では郷土「岩手」に関する資料を網羅的に収集しており、集めた資料は郷土資料コーナーに並べられます。郷土資料の中でも“石川啄木”と“宮沢賢治”に関する本は「啄木文庫」、「賢治文庫」として一か所にまとまっており、東日本大震災の資料をまとめた「震災資料コーナー」もあります。

また、マイクロフィルムも多数所蔵しており、古い新聞を見ることができます。おや？コンシェルジュがマイクロフィルムからそばっちが載った記事を見つけたようです！



みんなが使いやすい図書館

3階の案内が終わり、エレベーターで4階に向かうコンシェルジュとそばっち。4階には「新聞・雑誌コーナー」、「音と映像コーナー」があります。

ところでこのエレベーター、多くの方に使いやすいようボタンが低い位置にあり、また、手すりや鏡が付くなどの工夫が凝らされています。岩手県立図書館にはこのほかにも様々なユニバ

ーサルデザインが取り入れられています。来館の際には、ぜひ探してみてください。



新聞・雑誌コーナー

4階新聞雑誌コーナーです。ここには約300タイトルの雑誌と、約50タイトルの新聞が並んでいます。全国紙の縮刷版や、全国の電話帳などもこのコーナーにあります。

このほか、外部のデータベースを利用できる端末を設置しています。国立国会図書館の所蔵資料を閲覧・印刷できる「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」、新聞記事や判例などを簡単に調べることができる「オンラインデータベース（電子資料）」などを利用することができます。



音と映像コーナー

続いて「音と映像コーナー」へ。ここにはCDやDVDなどの視聴覚資料が並んでいます。また、これらの資料を視聴するための「視聴ブース」も設置しています。

このほか、子育て世代を応援するための絵本や雑誌、「ビジネス支援コーナー」には就業や資格取得に関する本も並んでいます。

そばっちゃんがOPACで探していたわんこきょうだいのCDも見つけることができました！



そばっちゃんがOPACで探していた
わんこきょうだいのCD

今後の図書館動画について

YouTubeチャンネルを開設したとはいえ、まだ図書館動画は1本しかありません。今後も多くの動画を作ることができればと考えています。岩手県立図書館紹介動画 YouTubeチャンネルの今後にご期待ください。



岩手県立図書館紹介動画
<https://www.youtube.com/watch?v=RtklHesgyIc>

右のQRコードからもアクセス
できます。

